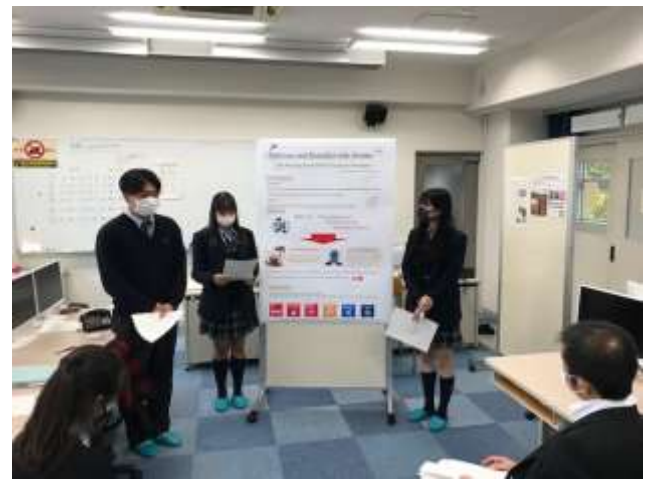
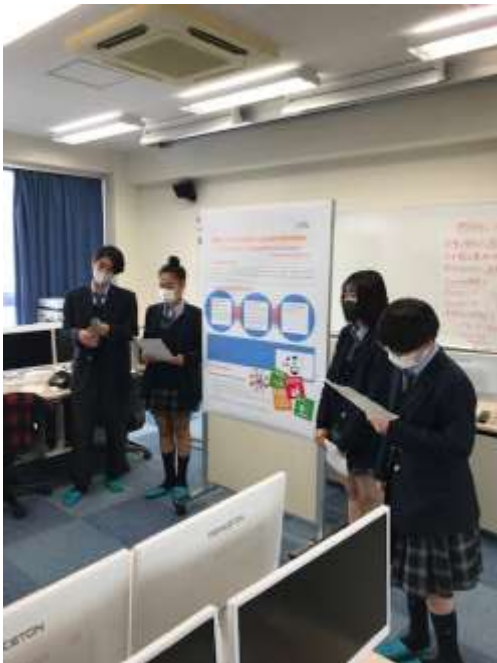


12月上旬、3学年の課題研究「ソーシャルビジネス」では、「SDGsの視点からパラグアイの社会の課題をビジネスの力で解決しよう」というテーマでポスターセッションを開催しました。当日は授業参観として来校された国際協力機構 JICA 東京市民参加協力第一課の方2名とインターの方2名の計4名、本校英語教諭1名と副校長に審査をしていただきました。

このポスターセッションは今年で2回目となり、今年度は JICA の技術協力プロジェクトのひとつ「小規模農家の輸出農作物安全性向上プロジェクト」であるゴマについてテーマを絞り、日本人にゴマの魅力を広める方法やもっとたくさん食べてもらうための商品について、英語で発表をして、英語で質疑応答をおこないました。また、自分たちが発表をしていないときは、他のグループを評価したりしました。生徒たちはオールイングリッシュに緊張しながらも、ポスターを活用して、効果的なプレゼンテーションをおこない、内容や要点を相手に伝えることができたようです。



グループ名は・「Peteĩ (ペティン)」

- ・「Mokõi (モッコオイ)」
- ・「Mbohapy (ボハプウ)」
- ・「Irundy (イルンドウ)」でした。

これはグアラニー語で数字の「1」・「2」・「3」・「4」の読み方になります。。パラグアイではスペイン語と共に公用語として用いられている言語です。